



発刊日：平成 26 年 9 月

発行元：認知症疾患医療センター&認知症相談支援センター

協同で発行しています！

今年も厳しい暑さが続いていますね。猛暑日が続くと心配になるのが、認知症による徘徊です。昨年 1 年間に認知症で行方不明になったとして、警察に届出があった人数が全国で 1 万人を上回ったというニュースは記憶に新しいかと思います。行方不明者の中で最も多いのは一人暮らしの高齢者だそうで、核家族化が進む現代では、地域で認知症の方を見守り、支援していく必要があります。

そこで今回は、厚生労働省が認知症の方を支援していくための施策として発表している「認知症施策推進 5 か年計画（オレンジプラン）」について、名古屋市では千種区内で次の 2 つの取り組みをモデル事業として実施していますので、ご紹介します。

認知症ケアパス・初期集中支援チームについて

「認知症」と聞くと、「もの忘れ」を思い浮かべることが多いと思います。確かに認知症の原因疾患として最も多いアルツハイマー病では初期からあらわれる症状として「もの忘れ（記憶障害）」があげられます。アルツハイマー病はゆっくりと進行し、この記憶障害のほかに、段取りを立てて、ものごとを行うことが難しくなる「実行機能障害」や時間や場所などがわかりづらくなる「見当識障害」、そして、「失語」や着衣などうまくできない「失行」、「失認」などの症状もあらわれるようになります。

そのため、こういった中核症状によって生活がしづらくなり、不安が募って混乱が増す前に、ケアをするなど先を見据えた対応が大切になると言われています。

また、できるだけ早期に診断・対応につながることで、ご本人は、これからについて考えることができ、新しい環境に慣れたり、ご自身でできることが多い時期から、デイサービスなどを利用し始めることもできます。また、ご家族も、家族交流会等に参加して経験のある介護者から病気や介護のことを知ること、認知症を受け入れる準備をすることができるようになります。

このように、病気の進行等にあわせて、いつ、どこで、どのような医療や介護サービス・支援を受けられるのかをあらかじめ示したものを「認知症ケアパス（以下「ケアパス」という。）」と呼んでおり、気づきや初期段階から認知症等を理解する機会があれば、今後どうしたらよいか迷うことが少なくなるかもしれません。また、このケアパス等の流れに沿って、病気の初期段階で集中的に訪問して自立生活のサポートを行う取り組みを「認知症初期集中支援チーム」と呼んでいます。

現在、ケアパスは検討委員会を設置し、作成と普及について話し合いを行っています。また、認知症初期集中支援チームは、千種区東部いきいき支援センター内にチーム員を配置し、地域住民から「認知症かもしれないが、病院にもどこにもつながっていないので心配」などの相談を受け付け、チーム員である認知症サポート医と協力しながら支援を行っています。これらの事業は、来年度以降、順次、対象地域を拡大しながら取り組んでいく予定です。

問合先及び認知症に関する相談窓口

認知症コールセンター 認知症の症状や介護等に関する様々な相談
◆名古屋市認知症コールセンター ☎052-763-1332

認知症疾患医療センター 専門医療、鑑別診断と治療、急性期対応等に関する相談
◆名鉄病院 ☎052-551-2802 ◆まつかげシニアホスピタル ☎052-352-4165
◆守山荘病院 ☎052-795-3560

認知症コラム NO.4

認知症を疑われた時にすべきこと 名古屋市認知症相談支援センター嘱託医 黒川 豊

認知症の人が増えています。すでに 65 歳以上の人口の 15%が認知症と言われており、当初の予想よりかなり早い勢いで増えています。認知症の多くは「もの忘れ」で発見されるのですが、もの忘れが目立たず、行動がおかしいことで気付かれることもあります。認知症が疑われた人の 20%は認知症以外の治る病気が原因なので、早期に受診することが重要です。

認知症についての相談は①その人のことをよく知るかかりつけ医、②いきいき支援センター、③認知症疾患医療センター、④認知症の人と家族の会などで受けることができます。

認知症には主に 4 つ病気があります。症状に違いがあり、診断が容易な場合もありますが、難しい場合もあります。MRI の画像には全く異常がなかったり、認知症テストは満点の場合もありますので、さらに詳しい検査ができる専門医を受診することが必要になります。専門医のいる病院はかかりつけ医に紹介してもらうことができます。

現在の医療技術では認知症を完治させることはできませんが、過去 20 年の間に寿命が 4 年から 14 年に延びていますので、早期に治療を始めて進行を遅らせることはとても重要なことです。認知症が進行すると通院できなくなることもありますし、日々の生活の中では、専門医だけではなく、かかりつけ医との関わりがとても重要になってきます。

認知症はだれにも起こる可能性があります。認知症の研究者が認知症になってしまった例もあります。認知症になって家族に世話をかけてしまってもどうかやさしい目で見てあげてください。その方はあなたがた家族をずっと大切に思ってきた人なのでから。



認知症関係の行事予定

◆10月1日(水) 13:30~15:00 認知症講演会 ~金銭管理への支援・手作り料理を楽しもう~

場所: 守山文化小劇場

内容: 第一部: 認知症の方への金銭管理の支援(権利擁護センター)・第二部: 介護する人される人、手作り料理を通してみんな元気に楽しく(宮本和秀氏)

問合先: 守山区東部いきいき支援センター
Tel052-758-2013

◆10月20日(月) 13:30~15:30 権利擁護・成年後見制度講演会~ずっとここで暮らしたい 老いても自分らしくある為に~

場所: 熱田区役所講堂

内容: 権利擁護センターの講演。成年後見あんしんセンターの講演。

問合先: 熱田区いきいき支援センター
Tel052-671-3195

◆10月21日(火) 12:00~15:30 五感で体験、福祉フェア!

場所: 緑区役所講堂・徳重地区会館 体育室

内容: 緑区介護事業所連絡会の運営による、介護サービスや福祉用具の体験コーナー、介護相談などの、体験型イベント。
(どちらの会場も同じ時間と内容です)

問合先: 緑区北部いきいき支援センター
Tel052-899-2002

◆10月23日(木) 13:30~15:30 10月31日(金) 13:00~16:00

元気いきいきフェア~元気でいきいきと健康に暮らせることはみんなの願いです~

場所: (23日) 東区役所講堂

(31日) 高岳げんき館・高岳福祉会館

内容: (23日) アニメ「しわ」上映。(31日) 成年後見制度・在宅医療等の情報提供。介護用品展示。なつかしの歌声広場(13:30~)。回想法体験講座(15:00~)。

問合先: 東区役所福祉課
Tel052-934-1187

◆11月8~12日(土~水) 11:00~16:30 みずほ介護フェスタ~介護・福祉についてのイベントを多数開催~

場所: 瑞穂区役所 講堂

内容: 詩人藤川幸之助さんの講演やシンポジウム(地域包括ケア/介護や福祉の仕事)。区民パフォーマンス。保健所の体操・体力測定。デイサービス等利用者作品展示など。

問合先: 瑞穂区役所福祉課
Tel052-852-9396

◆11月13日(木) 13:30~15:30 中村区認知症講演会~認知症の予防 今日からできる健康づくり~

場所: 中村文化小劇場

内容: 国立長寿医療研究センター生活機能賦活研究部 島田裕之先生の講演。めいらく寸劇グループ発表会(家族が認知症になったら...?)。

問合先: 中村保健所保健看護担当
Tel052-481-2218

◆11月15日(土) 13:00~16:00 第11回認知症についての市民シンポジウム

場所: 千種区役所講堂

内容: 講演「認知症の早期発見と予防」(筑波大学 朝田隆先生)。シンポジウム「認知症の予防について」(座長 あさひが丘ホスピタル 柴山名誉院長)。

問合先: 千種区役所福祉課
Tel052-753-1839

◆12月1日(月) 13:15~15:30 認知症講演会~回想法・昔を語る場、つくってみませんか~

場所: 昭和区役所講堂

内容: 回想法を中心とした認知症予防の講演(日本福祉大学の来島修志先生)。認知症専門部会委員による寸劇。介護用品の展示。いきいき支援センターの個別相談もあります。

問合先: 昭和保健所
Tel052-735-3961

名古屋市認知症相談支援センターのフェイスブックでは市内の認知症イベント情報を随時掲載しています